

言語文化学科



英米言語文化 コース

英米言語文化コース とは

このコースの特色は、文学、言語、比較文化など、英語や英語圏の国に関する幅広い分野を網羅していることです。これは、英米言語文化というコース名からもわかるかと思えます。このコースに來れば、英語に関することなら何でも勉強できます。教員の専門分野は、英米文学、言語学、ポストコロニアル文学、比較文化論などです。

学生の皆さんの中には、入学した時点でなんとなく「英語で話せるようになりたい」と思っている方が多いと思いますが、英語で円滑なコミュニケーションをとるためには、文学や文化など、英語圏の「共通の話題」である「文化リテラシー」が絶対に必要となります。こうした理念のもと、本コースでは各学生の興味に沿った指導・教育環境を提供しています。

先生の研究

イギリスの劇作家ウィリアム・シェイクスピアを研究しています。シェイクスピアの面白さのひとつは、ローカルな文化を取り込みつつ世界中で上演・翻案されていることでしょう。つまり、英国には英国の、インドにはインドの、日本には日本のシェイクスピアが息づいているのです。かつては英米主導の研究が主流でしたが、ポストコロニアル批評を経て、今では私たち自身の異なる文化的背景を強みとして、作品と向き合う研究も盛んになっています。グローバル・シェイクスピア研究と言います。現在の私の主な関心も、日本に住む人びとがシェイクスピアとどのように格闘し、作品を受け入れてきたのか、教えてきたのかという問題にあります。



准教授 うちまる こうへい
内丸 公平 先生

学生にインタビュー

○コースに入ったきっかけ

小さい頃から本を読むのが好きで、英語で書かれた本の和訳を読むこともしばしばでした。洋書も読めるようになったら、読書の幅が広がるだろうと思ってこのコースにしました。好きなシリーズの邦訳の刊行が中断され、英語でしか読めなくなったのもきっかけです。

○自身の興味

映画などの字幕で顕著ですが、日本語訳と原文の直訳との違いに興味深いと感じます。また、経済のシステムが現代とある程度同じであるけれども、価値観は異なっていたヴィクトリア朝の作品を研究してみるのが面白そうだと思います。

○コースの雰囲気・特徴

先生方が多く在籍されており、それぞれ異なった専門分野を持っているので、幅広く学ぶことができます。ニュージージーランドの文化を学ぶのはなかなかない機会ですし、イギリスとアメリカという、成り立ちの異なる2つの国の文学に同時に触れられるのは他のコースにない魅力だと思っています。

卒論タイトル例

- ・ハート・クレインの収斂的詩法について
- ・『教授』における自己制御と激情—ウィリアムからフランスへの焦点の移動
- ・Comparing Two Stories about Alice

英米言語文化コース オススメ入門書

(1)『ジュリアス・シーザー』(新潮文庫ほか) (2) Worlds Elsewhere: Journeys Around Shakespeare's Globe (Vintage)

【著者】(1)ウィリアム・シェイクスピア、(2) Andrew Dickson

【紹介】

(1)シェイクスピアは英語圏の人なら誰でも知っている文化リテラシーですので、英語に興味があれば、必ず読むべき作家です。シェイクスピア入門にオススメなのは古代ローマを舞台とした『ジュリアス・シーザー』でしょう。スリリングなストーリー、巧みな演説など、シェイクスピア作品の魅力が凝縮された作品です。シェイクスピアの英語は簡単には読めないものも多いのですが、『ジュリアス・シーザー』であれば、高校3年生ほどの英語の学力があれば、翻訳を参照しながら読みこなせると思います。

(2)作者がドイツ、インド、香港などイギリス以外の世界 (Middlesewhere) に息づくシェイクスピアをレポートするトラベルエッセイです。作者が世界中で出会うシェイクスピアをときには軽妙な語り口で、ときには批評的な切り口で、紹介しています。まるで自分も作者と同じ場所にいるかのような興奮を味わえる臨場感たっぷりの本で、まさに英語の本を読む醍醐味が味わえます。大学生になって、シェイクスピアと英語に興味があればぜひチャレンジしてほしい本の1冊です。

教員紹介

田中孝信 教授 Takanobu Tanaka
文学テキストと階級・ジェンダー・人種
共編著『セクシュアリティとヴィクトリア朝文化』
(彩流社、2016)

内丸公平 准教授 Kohei Uchimarui
シェイクスピア、とりわけシェイクスピアと
教育に関わる分野
共著『Shakespeare and East Asian
Education』(Palgrave, forthcoming)

豊田純一 教授 Junichi Toyota
認知科学、歴史言語学、文化人類学
共編著『Vision Beyond Visual Perception』
(Cambridge Scholars Publishing, 2017)

イアン・リチャーズ 准教授 Ian Richards
New Zealand Literature
共編著『Vision Beyond Visual Perception』
(Cambridge Scholars Publishing, 2017)

古賀哲男 准教授 Tetsuo Koga
アメリカ文学 (黒人詩研究)
『ラングストン・ヒューズ』(大阪教育図書、2017)